

### 1. 実況上の着目点

- ① 前線が日本のはるか東から西日本へのびている。前線近傍の九州周辺では雷を多数検知しており、時々激しい雨を解析している。
- ② 那覇市の南西海上には、大型の台風第2号があって、北北東へ進んでいる。台風の接近に伴い、南西諸島では非常に強い風が吹き、台風を波源とするうねりの影響により波が高く沖縄地方では大しけとなっている。
- ③ 中国東北区には、500hPa 5580～5640mのトラフがあって東進。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 台風は2日にかけて沖縄地方にかなり接近するため、非常に強い風が吹き、波がうねりを伴い、大しけや猛烈なしけとなり、1日夜のはじめ頃にかけては高潮のおそれもある。その後台風は3日にかけて日本の南を東北東進するため、西～東日本太平洋側を中心とうねりを伴い波が高くしけとなる見込み。南西諸島では2日にかけて暴風に警戒し、高波、高潮に厳重に警戒。西～東日本では3日にかけて強風やうねりを伴った高波に注意。
- ② 南西諸島では、2日にかけて台風周辺の発達した雨雲がかかるため、大気の状態が不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や突風に注意。局地的に竜巻などの激しい突風のおそれもある。
- ③ 1項①の前線は2日朝にかけて本州付近を北上。その後1項③のトラフの接近により本州付近の前線上に低気圧が発生する見込み。低気圧は3日にかけて発達しながら北東進し、低気圧からのびる前線が本州付近を南下。低気圧や前線に向かって2項①の台風や日本のはるか東に中心を持つ高気圧からの下層暖湿気が流入するため、大気の状態が不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り大雨となる見込み。中国・四国地方では、2日は線状降水帯が形成されやすい気象状態となることに留意。西日本では2日にかけて、東日本では3日にかけて土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 北日本では、日本の東に中心を持つ高気圧と、オホーツク海の低気圧や2項③の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなるため、3日にかけて風が強くなり、波が高くなる見込み。強風や高波に注意。

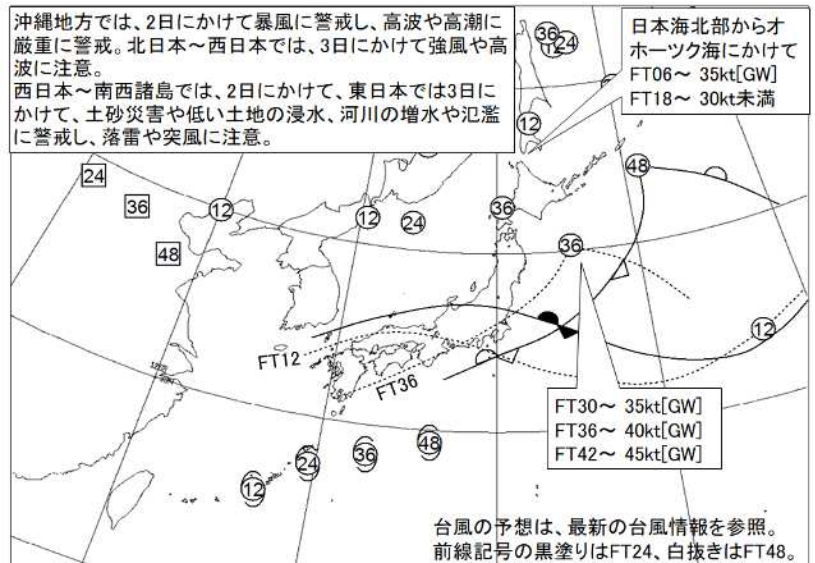
### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場は GSM 基本。量予想や降水分布、風は MSM や LFM も参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報と根拠】 ①大雨ポテンシャル(18時からの24時間)：四国 300、東海・近畿 250、関東甲信・中国・九州南部 200、北陸・九州北部 180、奄美・沖縄 150、伊豆諸島 120 mm。
- ②波浪(明日まで)：奄美・沖縄 9、九州南部 6、関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国 5、北海道・東北・九州北部 4m。
- ③高潮(明日まで)：沖縄地方では、警報基準を超える所がある。

### 5. 全般気象情報発表の有無

「台風第2号に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。